

# 令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般社団法人 学士会

## 令和5年度事業報告（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

### 事業概況

令和5年度は、令和2年から私たちの生活に大きな影響を与えてきた「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の位置付けが2類相当から5類に変更になるという明るい話題とともにスタートしました。

本会においても、「コロナ禍」により大きな影響を受けた講演会事業・学士会館事業で活気が戻り、特に学士会館事業においては、人員不足による一部レストランの閉鎖や営業縮小を余儀なくされながらも売上は13億円を超え、「コロナ禍」前の80%程度まで回復することができました。会館事業が年間を通じて好調だったこともあり、財政面においても、本会事業活動収支は、支出超ではあるものの、当初予算に対して、約3,000万円程度の改善を果たすことができました。

本年度、特筆すべきもう一つの明るい話題として、新卒新入会者数の大幅な増加があげられます。「コロナ禍」の4年間、七大学卒業式での入会勧誘活動の中止や制限があったこともあり、新卒入会者数の減少は顕著であり、それはそのまま年間入会者数の大幅な減少に直結していました。本年度はその入会者数の減少に歯止めをかけるべく「新入会促進のための特例措置」として、学生会員に向けて「トライアル学士会」と名付けた初年度年会費を無料とする入会キャンペーンを実施し、401名（内、キャンペーン入会者393名）の新入会員を迎えることができました。本施策は来年度の卒業生に対しても適用の予定であり、学生会員の勧誘・卒業年次の学生会員への働きかけ・新入会者へのフォローアップなどの活動を継続的に行い、会員増強の新たなサイクルが確立されるよう取り組んで参ります。

また、本会が平成30年度より取り組み、近年の最重要課題である「学士会館再開発」事業においても、着実な進展を見る事が出来ました。隣地所有者である住友商事㈱や各行政機関と協議・検討を重ね、概ね順調に進捗しております。

令和6年度は、「学士会館再開発」事業において、隣地所有者である住友商事㈱と共同再開発を行うことを正式に合意する「基本協定書」を締結し、かつ、新たな「学士会館」の姿を決定する重要な年度となります。既存事業においても、12月末に予定される学士会館の休館（一時閉館）に伴い、その実施方法等において様々な変更を余儀なくされる年度となりますが、「令和6年度事業計画」で示したとおり、学士会館の再開発問題を最重要課題に掲げ、併せて、将来にわたる本会の存続を見据えた事業・サービスのあり方の検討及び会員増強に努めて参ります。

以下、令和5年度の実施事業についてその概要を報告いたします。

令和5年度の本会は、取り組むべき重点課題として以下の3点を掲げ、当該課題に対する取り組みを行うと共に、定款に掲げる各種事業を実施してきました。

令和5年度の各事業の実施状況は後段にて詳述いたしますが、以下、重点課題に対する取り組み結果について報告いたします。

#### （1）学士会館の再開発に向けた諸活動の展開・推進

「学士会館再開発」事業に関しては、令和5年3月に隣地所有者である住友商事㈱と「基本合意書」を締結し、両者において共同再開発に向け、より具体的な協議を重ねてきた結果、本年2月には本計画の基礎となる「基本計画」を策定し合意に至りました。その他、各行政機関（千代田区・東京都等）とも協議を重ね、学士会館旧館を曳家保存するための計画については、概ね合意を得ることが出来ています。

今後は、本「基本計画」を基に、共同ビルの「基本設計」作成に努め、共同再開発の正式合意となる「基本協定書」締結に向けて、引き続き協議を重ねて参ります。「基本協定書」締結にあたっては、本事業の計画概要の確定や資金調達の見込付けが必須です。資金調達方法については、理事長の下に専門の評価委員会を設置し、慎重かつ迅速に検討を進めて参ります。

令和6年度は、上記のとおり、本事業実施の最終判断を行い、「基本協定書」を締結する重要な年度となります。本年度に引き続き、本事業の推進及び実現に向けて、本会一丸となって取り組んで参ります。

## (2) 会館再開発中・再開発後を見据えた学士会事業・会員サービスの企画・検討

令和5年度も前年度に引き続き、“デジタル”をキーワードに既存事業の質的充実を図ると共に、再開発期間中の本会既存事業の扱い及び新規会員サービスについて企画・検討を行いました。

会報発行事業においては、『學士會会報』と共に隔月発行している七大学総合情報誌『NU7』を、より広く一般に公開できるよう完全Web化を行いました。また、前年度より開始している「ハイブリッド講演会」(来場とオンラインを併用した講演会)、「Web交流会」(Web会議システム「Zoom」を使用した交流会)を引き続き実施し、デジタルを利活用したサービスを進めてきました。学士会館事業においては、令和6年12月末をもって休館(一時閉館)することを決定しました。

再開発期間中の5年間、会館事業は休止となりますが、その他の主な本会事業・会員サービスの扱いについて、①『學士會会報』等会報発行事業は継続(変更なし)、②「夕食会・午餐会」は近隣の会場にて一部形態を変更(食事提供中止・オンライン配信併用)して継続することを決定しています。尚、事務局機能及び会員倶楽部室(撞球室、囲碁・将棋室)については、近隣の仮事務所に移転することとしています。

さらに、「会員サービス高度化委員会」の下部組織として「新規イベント運営専門委員会」を設置し、新たな会員サービスとして、TEDxを目標とした「プレゼンテーション型イベント」開催に向け企画・検討を開始し、令和6年度の開催に向けて準備を進めています。

本年度は前述のとおり、多くの新入会員を獲得することが出来ました。令和6年度は、キャンペーン入会者の会員継続及び次世代の入会予備群である学生会員に向けた施策の企画・検討を行い、学士会館に頼らないサービスの確立を目標に、会員増強に努めて参ります。

## (3) 学士会財務状況の改善—事業活動収支の赤字縮小

学士会館事業は本会の事業活動を経済面から支えている重要な事業となりますが、その運営は本会の100%子会社である㈱学士会館精養軒が担っております。

令和5年度は、人員不足による一部レストランの閉鎖や営業縮小等がありましたが、集宴会・宿泊事業において順調に売り上げを伸ばし、売上高は13億2千万円超と、「コロナ禍」前の80%程度まで回復しました(但し、本会への固定納付金は「コロナ禍」前の5割の水準となっています)。結果、本会事業活動収支も、赤字計上とはなったものの、当初予算と比較して、3,000万円程度赤字幅を改善することができました。

令和6年度は、12月末での学士会館営業終了による収入減や仮事務所への移転費用による支出増が見込まれています。今後5年間の再開発期間中の収入減を見据え、無駄な支出は抑えながらも、サービスの質は落とさないように各種事業を行って参ります。

以下、各事業別にその概要を報告いたします。

## 1. 会 報 (『學士會会報』及び『NU7』)

本会会報である『學士會会報』と『NU7』を隔月に同時発行しました。『學士會会報』は第960号を令和5年5月、第961号を7月、第962号を9月、第963号を11月、第964号を令和6年1月、第965号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

七大学総合情報誌として平成27年9月より発行している『NU7』は、第47号を令和5年5月、

第48号を7月に、それぞれ発行し全会員に配布すると共に七大学関係者にも広く配布し、会員増強に資するよう努めました。下半期からは会員サービスデジタル化の一環として『NU7』の完全Web化を行い、9月に第49号、11月に第50号、令和6年1月に第51号、3月に第52号を本会公式サイトにて公開し、新たな読者層の獲得と経費削減に努めました。

また、学生会員向けサービスの一環として、希望する学生会員約300名に『學士會会報』（『NU7』は第48号まで）を配布しました。

## 2. 学 士 会 館

(1) 会館の利用実績は次のとおりです。

□会 議 室 利 用 回 数	4, 384回 ( 3, 840回)	*カッコ内は前年度実績
□会 議 室 利 用 人 員	110, 589名 ( 85, 833名)	} ※延べ人数 計 229, 794名 [1日平均647名] 臨時休業日・年末年始を除く
□宿 泊 室 利 用 人 員	8, 750名 ( 7, 307名)	
□レストラン等利用人員	97, 909名 (105, 097名)	
□読 書 室 利 用 会 員	1, 724名 ( 1, 739名)	
□会員倶楽部室利用会員	10, 822名 ( 10, 148名)	

(2) 会館を適切に維持・保全するために、次のとおり会館の補修・改修工事を行いました。

本年度は、再開発のために令和6年12月末の閉館が決まっていることを踏まえて、投資目的となる改修工事の実施は見送りましたが、会館営業に必要な最小限の諸工事を次のとおり実施しました。

- ・「エスカレーター」修理工事
- ・「ホテル客室（複数）」、「写真室」空調機修理工事
- ・「紅樓夢」空調機交換工事
- ・「旧館3階女子トイレ」、「新館1階女子トイレ」ウォシュレット交換
- ・「旧館1階男子トイレ」排水管ルート変更工事
- ・「新館外壁」タイルの一部剥落に伴う緊急対応工事

上記の他にも、会館営業に支障をきたす箇所に対して、適宜補修工事を実施しました。

(3) 学士会館の防火防災対策の一環として、次のとおり実践的な防火防災訓練を行いました。

- ・防火防災総合訓練の実施（11月）
- ・夜間における大地震と火災発生を想定した、学士会館従業員の対応訓練の実施（3月）

## 3. 講演会、交流会、その他の活動

過去3年にわたり、中止や規模縮小を余儀なくされてきた各種イベントですが、「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の位置付けが変更になったこともあり、本年度は計画とおりに開催することが出来ました。

### (1) 夕 食 会

本年度は次のとおり、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催（5月、8月、1月は例年とおりに休会）し、延べ1,054名の参会がありました。

健康長寿のための正しい筋肉の鍛え方	荒 井 秀 典 氏 (令和5年 4月例会)
超深海への初潜航と海溝底の世界	道 林 克 禎 氏 (令和5年 6月例会)
次世代原子炉SMR～脱炭素技術としての期待と課題	小宮山 涼 一 氏 (令和5年 7月例会)

睡眠の謎に挑む：原理の追求から社会実装まで	柳 沢 正 史 氏 (令和5年 9月例会)
国連において日本が果たすべき役割	吉 川 元 偉 氏 (令和5年10月例会)
ChatGPTのインパクト～我々はどう向き合い、どう活用すべきか	川 村 秀 憲 氏 (令和5年11月例会)
新型コロナウイルス感染症のパンデミックから我々は何を学んだのか	押 谷 仁 氏 (令和5年12月例会)
新たな火山監視技術と噴火予知	西 村 太 志 氏 (令和6年 2月例会)
岐路に立つ中国の行方—習近平政権の正念場	柯 隆 氏 (令和6年 3月例会)

## (2) 午 餐 会

本年度は次のとおり、夕食会と同様に各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催（8月、12月は例年とおりに休会）し、延べ1, 286名の参会がありました。

平安の美と妖しさ	高 樹 のぶ子 氏 (令和5年 4月例会)
「成長の臨界」にどう対応するか？	河 野 龍太郎 氏 (令和5年 5月例会)
スペースガード（プラネタリー・ディフェンス）～概要と日本の取り組み	奥 村 真一郎 氏 (令和5年 6月例会)
料理とはなにか？	土 井 善 晴 氏 (令和5年 7月例会)
18世紀京都画壇の奇想の絵師たち—伊藤若冲を中心に	山 下 裕 二 氏 (令和5年 9月例会)
国会審議活性化法（1999年7月30日公布）を振り返り、今・国会の在り方を考える	大 島 理 森 氏 (令和5年10月例会)
「言霊」という畏	京 極 夏 彦 氏 (令和5年11月例会)
シェイクスピアと私	山 田 昭 廣 氏 (令和6年 1月例会)
囲碁の歴史と囲碁界におけるAIとの向き合い方	吉 原 由香里 氏 (令和6年 2月例会)
進む核軍拡と迫る北東アジアの核使用リスク—核リスク削減に向けての提言—	鈴 木 達治郎 氏 (令和6年 3月例会)

## (3) 関西茶話会

関西地区の会員を対象とした関西茶話会を、本年度も引き続き講演会のみに変更して開催し、延べ93名の参会がありました。

第50回「現代の錬金術：多元素ナノ合金の開発とグリーン・トランスフォーメーション」	北 川 宏 氏 (令和5年 4月15日)
第51回「削るむし歯、削らないむし歯」	林 美加子 氏 (令和5年 6月17日)
第52回「なつかしさの心理学 ～幸せのための心の時間旅行～」	楠 見 孝 氏 (令和5年10月14日)
第53回「月周回衛星『かぐや』が明らかにした地球-月システムの新しい知見」	寺 田 健太郎 氏 (令和6年 2月17日)

## (4) ハイブリッド講演会

学士会事業のデジタル化の一環として、本年度はハイブリッド形式（学士会館＋オンライン）の講演会を12月と1月に開催し、延べ256名の参会がありました。

令和5年冬期講演会「世界経済のリスクと日本経済の長期展望」

黒田 東彦 氏 (令和5年12月13日)

令和6年冬期講演会「アルツハイマー病の克服に向けて」

岩坪 威 氏 (令和6年1月31日)

## (5) 地域講演会

本年度は、名古屋地区にて4年ぶりに完全対面形式で開催しました。

□名古屋地区

共催 学士会、名古屋大学全学同窓会

後援 名古屋大学

「愛知県医療療育総合センターの軌跡—障害児・者の医療福祉のあゆみ—」

石黒 直樹 氏 (令和6年2月2日)

(参加者：93名)

## (6) 関連団体との合同講演会

本年度は次のとおり、七大学関係同窓会及び学士会公認同好会と合同で講演会を開催しました。

□川原尚行氏帰国報告会 (九州大学東京同窓会との共催)

「騒乱のスーダン、今私たちに出来ること」 川原 尚行 氏 (令和5年6月22日)

ハイブリッド形式 (学士会館+オンライン) で開催しました。

(参加者：77名)

□学士会将棋会100周年記念講演会 (学士会将棋会への後援)

「AIは将棋の世界をどう変えたか」 羽生 善治 氏 (令和5年8月5日)

講演会終了後、木村英紀学士会将棋会代表委員をコーディネーターに、羽生善治九段、松原仁東京大学次世代知能科学研究センター教授、谷合廣紀四段によるパネル討論会を開催しました。

(参加者：237名)

## (7) 若手茶話会

45歳までの会員を対象とした茶話会 (「ミニプレゼン会」「読書会」「d o C a f é」) を、若手会員の集まりである「学士会YELL (Youth Experts for Liberal arts and Leadership)」が主体となり、毎月開催しました。ハイブリッド形式 (学士会館+オンライン) も導入し、延べ255名の参加がありました。

<実施内容の一例>

(ミニプレゼン特別会)

「拡張する資本主義～AI時代を前に考えたい『人間の経済』宇沢弘文の思想から」

占部 まり 氏 (令和5年5月30日)

「ラグジュアリーブランドから文化人類学へ」 永井 展央 氏 (令和5年7月21日)

## (8) Web交流会

Web会議システム (Zoom) の体験会から派生した、会員同士で談話をする「Web交流会」を開催しました。各回トークテーマを設けると共に、読書会「90分 de 『學士會會報』」、メタバース体験会やVRゴーグル体験会等、計33回開催し、延べ247名の参加がありました。

## (9) クリスマス家族会

本年度は令和5年12月23日に開催し、富良野塾出身の大道芸人、くす田くす博博士による「アクロバット科学実験ショー」と、(株)学士会館精養軒によるクリスマス特製フルコースを堪能しました。307名の参会がありました。

## (10) 新年祝賀会

本年度は令和6年1月5日に開催し、樺山紘一理事長の新年の挨拶、賀宴、船岡正道会員の謡曲披露の後、加藤登紀子氏（歌手）による講演会（演題：「加藤登紀子の言語的迷走記」）を開催し、218名の参会がありました。

## (11) 見学会

本年度は次のとおり、関西地区において見学会を開催しました。

[関西地区]

「興福寺国宝五重塔 大修理前の見学会」（興福寺（奈良県奈良市））（令和5年 5月27日）  
（参加者：30名）

「京都迎賓館夜間貸切ガイドツアー」（京都迎賓館（京都府京都市））（令和5年 9月 2日）  
（参加者：31名）

## (12) 体験イベント・観察会

本年度は次のとおり、各分野で活躍されている著名人を講師に迎え、体験イベント及び観察会を開催しました。

「～虫を食す～食虫植物の仕組み解説と捕食実験」（令和5年 7月22日）

咲くやこの花館館長で、平成28年に自身が10年以上栽培してきた絶滅危惧種の水生食虫植物「ムジナモ」を开花させた城山豊氏を講師にお迎えしました。

（参加者：20名）

「昆虫博士と行く！昆虫観察会」（令和5年 8月 2日）

東京大学総合研究博物館講師で、平成23年日本蝶類学会の調査隊副隊長として“幻の大蝶”ブータンシボリアゲハを78年ぶりに再発見したことで知られる矢後勝也氏を講師にお迎えしました。

（参加者：27名）

「『歌会始の儀』披講所役 園池公毅氏に実践で学ぶ和歌の披講」（令和6年 2月17日）

早稲田大学教育・総合科学学術院教授で、植物生理学の研究者でありながら宮中行事「歌会始の儀」披講所役を約40年務める園池公毅氏を講師にお迎えしました。

（参加者：30名）

## (13) 良縁イベント

29歳～40歳の独身者（会員及び会員家族）に参加者を限定した良縁イベント「1対1良縁パーティー」を令和6年2月25日に開催し、全国から28名（男女各14名）の参会がありました。募集開始早々に満席となり、キャンセル待ちも多数発生しました。

## (14) 動画配信

国内唯一となる「国際卓越研究大学」の認定候補に選定された東北大学で、平成8年から6年間、総長

(第18代)を務めた阿部博之理事による動画「人生最高の一冊」を、「学士会主催イベント 動画チャンネル」にて配信しました。

出演：阿部博之氏(学士会理事/元東北大学総長) (令和6年2月9日公開)

内容：「子どもの頃夢中になって読んだ本」(2冊)、「人生最高の一冊」を、その理由と共に紹介

## (15) 同好会支援

令和5年10月に新たに公認同好会に認定された「学士会ミュージアム倶楽部」(美術館・博物館鑑賞)を支援しました。加えて例年とおり、撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲の各公認同好会及びオンラインで定期的に集まり談話を行う「Webサロン」、「サクラ会」の開催を支援しました。

## (16) 会員企画支援

本年度は次のとおり、学士会会員グループ主催による講演会を支援しました。

□ミニプレゼン会特別会(ハイブリッド開催) 共催 学士会YELL、京都大学同窓会若手会、(NPC)eumo  
後援 京都大学同窓会  
協力 学士会、(株)ジェネリス

「“豊か”に生き抜く未来の道標」

山極壽一氏・占部まり氏(令和5年11月5日)

講演会終了後には、上記講師2名に加え、岩波直樹氏、村尾昌大氏、川野陽子氏、渡邊和樹氏、崔仁珠氏による討論会を開催しました。

(参加者：155名)

□ミニプレゼン会特別会(ハイブリッド開催) 共催 学士会YELL、(株)ジェネリス  
「人間の本質に迫る医学とスピリチュアル～進化精神医学×ホリスティック医学の視点から～」  
高野覚氏・帯津良一氏(令和6年2月11日)  
(参加者：112名)

## (17) 提携サービス紹介

提携企業が本会の会員向けに提供する各種サービス(引越し、ホームセキュリティ、スポーツクラブ等)について、延べ136名の利用がありました。また、音楽・演劇・舞踊などの舞台芸術に関して一般販売では入手困難な良席を特別価格にて提供している「鑑賞ツアー」については、延べ1,480名の利用がありました。

## (18) ホームカミングデイへの出店

本年度は4年ぶりに東京大学ホームカミングデイに「学士会ビア屋台」として出店し、生ビール販売及びミニゲーム大会の実施を通じて来場者へ学士会紹介を行いました。また、初の試みとして、東京大学社会連携本部(東京大学基金)・東京大学地域同窓会連合会と連携し、本会を含めた3団体の紹介チラシの一括配布や来場者が3団体の出店ブースをリレー訪問できる仕組みづくり等を行いました。

## 4. 諸会議等

### (1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、令和5年6月22日学士会館において開催しました。当日の出席代議員



53名、書面等による議決権行使代議員44名、合計97名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

- 議案1 令和4年度事業報告並びに決算報告について
- 議案2 任期満了に伴う理事1名の選任及び理事の補充選任について
- 議案3 任期満了に伴う監事2名の選任について
- 報告1 学士会館の再開発に関する進捗状況について—現状報告—
- 報告2 会員数の動向について

## (2) 臨時代議員総会

本年度の臨時代議員総会を、令和6年3月14日学士会館において開催しました。当日の出席代議員49名、書面等による議決権行使代議員39名、合計88名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

- 議案1 令和6年度事業計画案及び予算案について
- 議案2 学士会館の共同再開発事業について

## (3) 理事会

本年度は次のとおり開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

### □4月理事会（令和5年 4月27日）

1. 令和5年度通常代議員総会の開催について
  2. 令和4年度決算概要について 併せ、(株)学士会館精養軒の決算概要について
  3. 保有事業債（建物設備修繕特定資産）の満期償還に伴う再投資について
  4. 「会員サービス高度化委員会」委員の追加選任について
  5. 学士会館の共同再開発に関する進捗状況について—報告—
- 報告（1）新卒業学士等の入会状況について  
（2）令和5年度期首会員数及び令和4年度の会員数動向について

### □5月理事会（令和5年 5月25日）

1. 梶山理事からの「辞任申出」について
2. 常務理事の選任について
3. 令和5年度通常代議員総会の議案について
4. (株)学士会館精養軒の第72期定時株主総会議案について

### □6月理事会（令和5年 6月22日）

1. 会報編集委員会 委員の変更について
  2. （本日開催の通常代議員総会にて）選任予定理事の職務等の扱いについて—口頭説明—
- 報告（1）（本日開催）通常代議員総会について

### □7月理事会（令和5年 7月13日）

1. 令和5年度・第一四半期（4月～6月）会計報告
  - ①（一社）学士会 ②(株)学士会館精養軒
2. 「会員サービス高度化委員会」からの報告  
—学士会館再開発中ならびに再開発後の会員サービス高度化に関する意見の取りまとめ（要点）—
3. 学士会館の共同再開発の進捗状況について

- 報告（１）第６２回全国七大学総合体育大会（七大戦）の開会式について（口頭報告）
- （２）令和５年度第一四半期（４月～６月）の会員数動向等について
- （３）令和５年度後半の理事会等の日程確認について

□ ９月理事会（令和５年 ９月２８日）

- １． 学士会館の共同再開発の進捗状況について  
—行政協議状況 並びに 共同ビルの「基本計画」—  
—再開発期間中の仮事務所の移転先候補について—
- ２． 学士会館の営業状況—(株)学士会館精養軒の令和５年度（４月～８月）の会計報告  
並びに９月以降の営業体制について
- ３． 事務局長（常勤理事）の労務・賃金管理の扱いについて
- ４． 特定資産の「満期償還」に伴う再投資について

報告（１）第６２回「七大戦」の戦績結果及び閉会式について

□ １０月理事会（令和５年１０月２６日）

- １． 令和５年度上半期決算報告及び令和５年度上半期資金運用状況報告  
並びに下半期運用計画（案）について—併せ(株)学士会館精養軒の令和５年度上半期決算報告—
- ２． 学士会館の共同再開発に関する進捗状況

報告（１）「ミュージアム倶楽部」の発足 及び 公認同好会の認定について

- （２）令和５年度上半期会員数動向（正会員・学生会員・準会員）

□ １１月理事会（令和５年１１月２４日）

- １． 会報編集委員会委員の交代について
- ２． 学士会館の共同再開発に関する進捗状況等について
- ３． 令和５年度「臨時代議員総会」の開催について
- ４． 令和６年度（２０２４年度）理事会等の会議日程について

報告（１）「七大学総長懇談会」の開催について

□ １月理事会（令和６年 １月２５日）

- １． 令和５年度決算見通し及び令和６年度予算作成の考え方について
- ２． (株)学士会館精養軒の令和５年度第３四半期会計報告について
- ３． 令和５年度臨時代議員総会（３／１４開催）議題について
- ４． 「学生会員」に対する新入会促進のための特例措置について
- ５． 学士会館の共同再開発に関する進捗状況について

報告（１）令和５年度第３四半期の会員数増減について

□ ２月理事会（令和６年 ２月２２日）

- １． 令和６年度事業計画案について
- ２． 令和６年度予算案及び資金計画案について
- ３． 学士会館の共同再開発事業について

報告（１）「名古屋講演会」（２／２）の開催結果について

□ ３月理事会（令和６年 ３月１４日）

報告（１）新館西側（５階）タイル落下事故報告と今後の対応について

- （２）（本日開催）臨時代議員総会について

#### (4) 監事会

1. 監査法人からの報告
2. 令和4年度決算報告（令和4年4月1日～令和5年3月31日）  
令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査
3. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について
4. 代議員総会第3号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）について

#### (5) 常務会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

#### (6) 諸委員会

##### ア. 会報編集委員会

本年度は次のとおり開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者及び講演会（夕食会・午餐会）講師の選定・決定を行いました。

- |     |      |        |         |
|-----|------|--------|---------|
| 第1回 | 令和5年 | 5月25日  | 会報第963号 |
| 第2回 | 令和5年 | 7月13日  | 会報第964号 |
| 第3回 | 令和5年 | 9月28日  | 会報第965号 |
| 第4回 | 令和5年 | 11月24日 | 会報第966号 |
| 第5回 | 令和6年 | 1月25日  | 会報第967号 |
| 第6回 | 令和6年 | 3月14日  | 会報第968号 |

##### イ. 会員サービス高度化委員会

本年度は次のとおり開催し、学士会館閉館中及び再開後に向けた新たな学士会事業・サービスの展開について協議を行いました。

- |     |      |       |
|-----|------|-------|
| 第3回 | 令和5年 | 5月9日  |
| 第4回 | 令和5年 | 10月3日 |
| 第5回 | 令和6年 | 2月8日  |

『NU7』については、編集担当委員による内容確認の上で、隔月で発行（9月より完全Web化）しています。

##### ウ. 学士会館再開委員会

本年度は次のとおり開催し、隣地所有者との共同開発の「基本協定」締結に向けた検討協議や、再開に関する課題について具体的な検討を行いました。

- |      |      |        |
|------|------|--------|
| 第32回 | 令和5年 | 4月27日  |
| 第33回 | 令和5年 | 5月25日  |
| 第34回 | 令和5年 | 7月13日  |
| 第35回 | 令和5年 | 9月28日  |
| 第36回 | 令和5年 | 10月26日 |
| 第37回 | 令和5年 | 11月24日 |
| 第38回 | 令和6年 | 1月25日  |
| 第39回 | 令和6年 | 2月22日  |

併せて、西村幸夫再開発委員会委員を中心に「再開発推進会議」を隔週開催し、主に設計に関する課題について協議を行いました。

その他、本委員会の下部組織であり建築について検討・提言を行う「建築部会」を2回開催し、学士会館旧館の再構築及び共同ビルの建築計画について協議を行いました。さらに、学士会館旧館の文化財保存・活用について検討を行う専門家を交えた専門委員会「文化財保存活用に関する検討委員会」を2回開催し、課題整理・協議を行いました。

## エ. 趣味同好会

令和5年12月1日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲の各同好会の年間優秀会員もしくは功労会員に対して理事長杯を授与し、その後、懇親会を開催し懇談を行いました。

## 5. 会 員

本年度における正会員の増減及び年度末正会員数は次のとおりです。\*カッコ内は前年度実績

新 会 員	869名	( 547名)
逝 去 会 員	635名	( 641名)
退 会 会 員	1,009名	( 946名)
会費長期未納退会者	245名	( 259名)
差 引 減	1,020名	(1,299名)
現 在 会 員 数	37,495名	(内 終身会員6,754名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が266名、平成21年度より新たに制度化された「新終身会員」が6,488名になります)

学 生 会 員 5,844名

(注:3月卒業・修了予定の1,589名を含めた会員数になります)

## 6. そ の 他

本会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託していますが、平成16年2月以降、本会が同社の株式を100%保有しています。同社の概要は次のとおりです。

[株式会社 学士会館精養軒の概要] (令和6年3月31日現在)

□名 称	株式会社学士会館精養軒
□所 在	東京都千代田区神田錦町3-28
□代表者	代表取締役社長 小堀 康生
□資本金	10,000,000円
□売上高	1,321,282千円 (令和5年度決算)

(株)学士会館精養軒の令和5年度の営業結果は、次のとおりです。

□令和5年度 (令和5年4月1日～令和6年3月31日) 決算

・売上高	1,321,282千円 (前年度: 1,114,212千円)
・営業利益	132,596千円 (同: 171,389千円) ※
・経常利益	133,812千円 (同: 186,907千円) ※

(注:令和5年度は学士会への会館運営に係る固定納付金を年額144,000千円負担した上での利益額であるのに対し、前年度は当該納付金をコロナ禍の影響を考慮し、全額免除された上での利益額となっています)